LIFEBOOK

B6FY-1471-01

取扱説明書

モバイルプロジェクターユニット

（FMVNPJ4/FMVNPJ5/FMVNPJ6）

梱包物を確認してください

- □ モバイルプロジェクターユニット
- □ モバイルプロジェクターユニットドライバー（CD-ROM）
- □ 保証書
- □ 取扱説明書（本書）

お使いになる前に、上記のものが梱包されていることをお確かめください。
万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

FUJITSU

目次

はじめに

このたびは、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書は、モバイルプロジェクターユニット（以降、本製品）の基本的な取り扱いについて説明しています。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2012 年 10 月

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品（LED 光源、冷却用ファンなど）が含まれています。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において 1 日約 1 時間、1 週間で 5 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品をより長く安定してお使いいただくために、一定時間お使いにならない場合は照射部をパソコン内に収納し、プロジェクターの電源をお切りください。

24 時間以上の連続使用について

- 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

安全上のご注意

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
🛇	🛇で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。

⚠注意

- 本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。
  低温やけどの原因となります。
- ひざの上などの直接肌に触れた状態では、使用しないでください。
  底面が熱くなり、低温やけどをおこす可能性があります。
- 本製品の動作中に、本製品の通気孔に手を触れないでください。
  やけどの原因となります。
- 本製品の動作中に、本製品の通気孔をふさがないでください。
  内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- LED 照射口のレンズ部分に触れないでください。
  LED 照射口はガラスを使用しており、ガラスの端面でけがをする原因となります。
  また衝撃などによりガラスが破損した場合は、ガラスの破片に直接触れないよう注意して清掃してください。けがをするおそれがあります。
- 振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
  本製品が落ちて、けがの原因となります。
- コネクタ端子に触れないでください。
  本製品やパソコン本体の故障の原因となることがあります。
- 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
  感電・火災の原因となることがあります。
- 衝撃や振動を与えないでください。
  故障の原因となることがあります。

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■連続する操作の表記

本文中では、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。

例：　「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種や OS によって、実際に表示される画面やイラストが異なります。また、イラストは説明の都合上、一部を省略していることがあります。

■照射部の角度について

本文中に出てくる照射部の角度については、特に方向の記載がない限り垂直方向の角度を指します。

■CD や DVD の使用について

本文中の操作手順において、CD または DVD を使用することがあります。
操作に必要な CD/DVD ドライブが搭載されていないパソコンをお使いの場合、必要に応じて別売の周辺機器を用意してください。
使用できる周辺機器については、インターネットの富士通製品情報ページをご覧ください。
また、使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

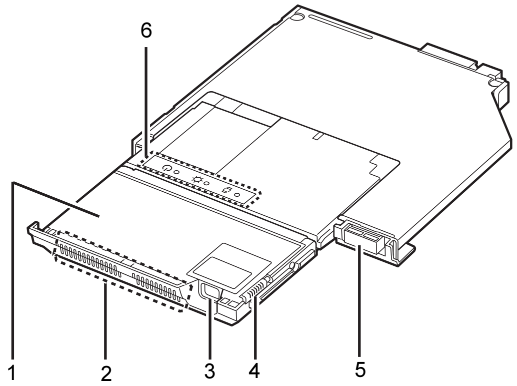
■製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="2">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>Windows 8</td><td rowspan="2">Windows 8</td><td rowspan="5">Windows</td></tr>
<tr><td>Windows 8 Pro</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Professional</td><td rowspan="2">Windows 7</td></tr>
<tr><td>Windows 7 Home Premium</td></tr>
<tr><td>Windows XP Professional</td><td>Windows XP</td></tr>
</table>

商標および著作権について

1 各部名称



1 照射部

2 通気孔

底面にも通気孔があります。

重要

▶通気孔はふさがないでください。故障の原因になります。

3 LED 照射口

4 フォーカススライドスイッチ

5 照射部引き出しスイッチ

6 調整ボタン、調整ランプ

向かって左側がボタン、右側がランプになります。

- LED 点灯ボタン、LED 点灯ランプ
  LED を点灯します。
- 輝度切り替えボタン、輝度切り替えランプ
  照射画面の明るさを切り替えます。
- 映像回転ボタン、映像回転ランプ
  照射している映像を 180° 回転させます。

2 モバイルプロジェクターユニットを使うための準備

ドライバーをインストールする

本製品をお使いになるには、添付の CD-ROM「モバイルプロジェクターユニットドライバー」からドライバーをインストールする必要があります。
インストールするときは、管理者権限をもったユーザーとしてログオンしてください。

POINT

- CD/DVD ドライブがお手元にない場合や最新のドライバーを入手する場合は、富士通製品情報ページからドライバーをダウンロードしてお使いください。
  - ・個人のお客様：http://azby.fmworld.net/support/
  - ・法人のお客様：http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html

1 パソコン本体のモバイル・マルチベイにCD/DVDドライブを取り付けます。

取り付け方は、パソコン本体のマニュアルのモバイル・マルチベイの説明をご覧ください。

POINT

- 外付けの CD/DVD ドライブユニットからインストールすることもできます。

2 本製品に添付の CD-ROM「モバイルプロジェクターユニットドライバー」を CD/DVD ドライブにセットします。

■ Windows 8 の場合

1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
2. 「Windows システムツール」の「コンピューター」をクリックします。
   「コンピューター」ウィンドウが表示されます。
3. ディスクをセットしたドライブのアイコンをダブルクリックします。
   「ドライバーズディスク検索ツール」が起動します。

■ Windows 7/Windows XP の場合

「ドライバーズディスク検索ツール」が起動します。

POINT

- Windows 7 で「自動再生」ウィンドウが表示された場合は「DRVCDSRC.exe の実行」をクリックします。Windows XP で「Windows が実行する動作を選んでください」と表示された場合は「自動再生」をクリックします。

- Windows 7/Windows XP で「ドライバーズディスク検索ツール」が起動しない場合は次のように操作します。
  1. 「スタート」ボタン→「コンピューター」または「マイコンピューター」の順にクリックします。
  2. ディスクをセットしたドライブのアイコンを右クリックし､表示されたメニューから「自動再生を開く」をクリックします。

3 「ソフトウェアの検索条件」でお使いの OS を選択します。

4 表示されたフォルダー内の「install.txt」をご覧になり、インストールしてください。

重要

- インストール中に、インストールを中断したり、別のソフトウェアを起動したり、パソコンの電源を切ったりしないでください。
- ドライバーをインストールするときに、競合ドライバーの警告のメッセージが表示される場合があります。
  USB で接続するディスプレイやプロジェクターなどのドライバーが共存するとパソコンが正常に起動されません。警告のメッセージに従い、デバイスドライバーをアンインストールした後で、プロジェクタードライバーをインストールしてください。

5 インストールの完了後､再起動をうながすメッセージが表示されたら､メッセージに従って再起動します。

3 使い方

モバイルプロジェクターユニットを取り付ける／取り外す

パソコン本体のモバイル・マルチベイに本製品を取り付けて使用します。取り付け方についてはパソコン本体のマニュアルのモバイル・マルチベイの説明をご覧ください。

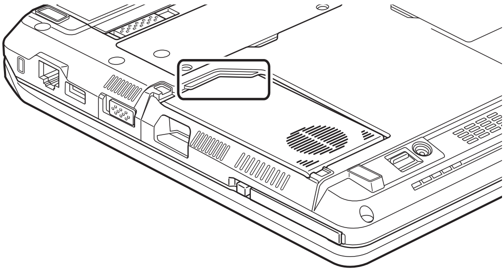
重要

本製品をモバイル・マルチベイに取り付けるときや取り外すときは、必ず照射部を格納してから行ってください。

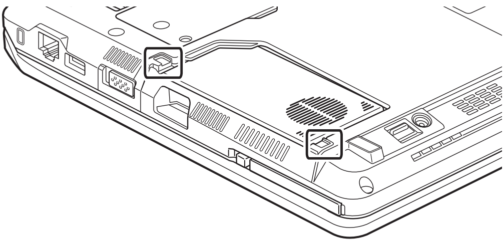
POINT

▶ LIFEBOOK S シリーズでは次の点にご注意ください。

・モバイル・マルチベイに取り付けたときは、パソコン本体のツメの部分が本製品の上側になります。



・本製品を取り外すときは、図の左右のくぼみ部分のいずれかに手をかけて引き出してください。

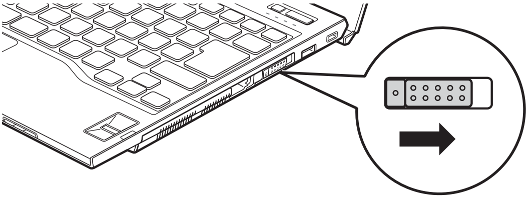


モバイルプロジェクターユニットの電源を入れる

POINT

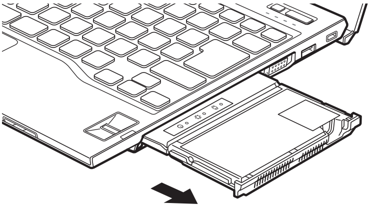
モバイルプロジェクターユニットを使用するときは、周囲の照明を暗くしてください。

1 照射部引き出しスイッチをスライドしてロックを外します。



（イラストは機種や状況により異なります）

2 調整ボタンが完全に見えるまで、照射部を引き出します。



（イラストは機種や状況により異なります）

モバイルプロジェクターユニットの電源が入ります。

重要

- 照射部を引き出した状態で上から押さえないでください。本製品が故障する可能性があります。特に照射部の下に机などがない状態で使用するときはご注意ください。
- 照射部を強く引っ張りすぎないでください。故障の原因になります。
- 照射部の引き出しおよび収納は、パソコンを机の上に置いた状態で行ってください。

POINT

- 照射部を引き出したときに、「システム設定の変更」画面が表示される場合があります。その場合は、「はい」をクリックしパソコンを再起動してください。

3 LED 点灯ランプ（→ P.4）がオレンジ色になったら、⏻LED 点灯ボタンを押します。

LED 点灯ランプが緑色になり、LED が点灯します。

4 照射部の角度を調節します。

0° ～ 90° の範囲で調節できます。

POINT

- 映像回転ボタンを押すと映像が 180° 回転され、表示されます。もう一度押すと元の向きに戻ります。
- 映像が反転した状態で 60° 以下にすると、元の向きに戻ります。
- 水平方向にも -3° ～ 3° の範囲で調整できます。

ピントを合わせる

映像がぼやけている場合は、フォーカススライドスイッチ（→ P.4）をスライドさせて、ピントを合わせます。

明るさを調節する

輝度切り替えボタン（→ P.4）で明るさを 2 段階に切り替えることができます。
ボタンを押すごとに明るさが切り替わります。
AC アダプタを接続している場合と、バッテリで運用する場合とで明るさが異なります。

	明るさ（lm：ルーメン）	
AC アダプタ接続時	40 注	30
バッテリ運用時	30 注	20

注：初期値

画面の表示方法を切り替える

パソコン本体の画面と、プロジェクターで表示している画面を切り替えて使うことができます。

表示方法	説明
複製	パソコン本体の画面とプロジェクターの画面の両方に同一の画面を表示します。 両方のディスプレイの解像度は同じである必要があります。
拡張	パソコン本体の画面右側をプロジェクターの画面に拡張し、1 つの画面として表示します。
セカンドスクリーンのみ（プロジェクターのみ）	プロジェクターの画面のみに表示します。

重要

- 本製品をパソコン本体から取り外すときは、照射部をパソコン本体に収納してから、取り外してください。

POINT

- 画面のローテーションは変更できません。
- ディスプレイの 3 画面表示はサポートしていません。
- パソコン本体のみに表示する場合は、プロジェクターの照射部をパソコン本体に格納してください。

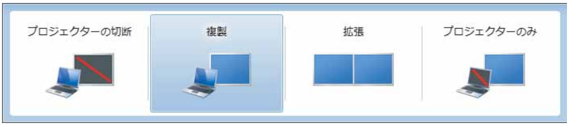
■ Windows 8/Windows 7 の場合

1 **[Windows] を押しながら [P] を押します。**

切り替え画面が表示されます。



（Windows 8 の場合）



（Windows 7 の場合）

2 **カーソルキーで表示方法を選んで、[Enter] を押します。**

画面の表示方法が切り替わります。

POINT

- 「画面の解像度」で切り替えることもできます。
  1. 次の操作を行います。
  - Windows 8 の場合
    1. スタート画面で「デスクトップ」をクリックします。
       デスクトップ画面が表示されます。
    2. デスクトップ画面の何もないところを右クリックし、表示されたメニューから「画面の解像度」をクリックします。
       「画面の解像度」ウィンドウが表示されます。
  - Windows 7 の場合
    1. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されたメニューから「画面の解像度」をクリックします。
       「ディスプレイ表示の変更」ウィンドウが表示されます。

2. 「複数のディスプレイ」の▼をクリックし、一覧から表示方法を選びます。
表示方法の名称はキーボードで切り替える場合と異なりますが、機能は同じです。

キーボードで切り替える場合	画面の解像度で切り替える場合
拡張	表示画面を拡張する
複製	表示画面を複製する
セカンドスクリーンのみ (プロジェクターのみ)	デスクトップを 2 のみに表示する

3. 「OK」をクリックします。
画面の表示方法が切り替わります。

■ Windows XP の場合

1 **デスクトップの何もないところで右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。**

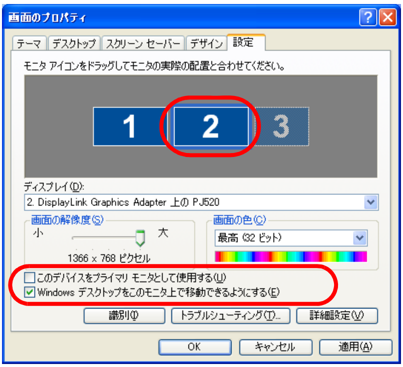
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 **「設定」タブをクリックします**

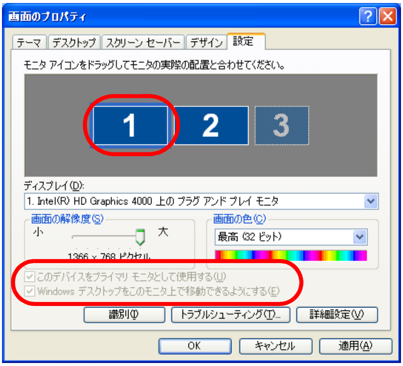
3 **切り替えたい表示方法に合わせ、次のように設定します。**

■ 拡張

1. 「ディスプレイ」の「2」を選び、「このデバイスをプライマリモニタとして使用する」のチェックを外し、「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」にチェックを付けます。

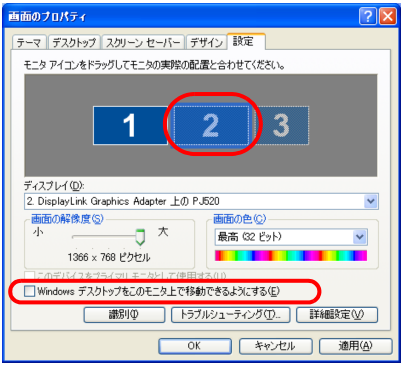


2. 「ディスプレイ」の「1」を選び、「このデバイスをプライマリモニタとして使用する」と「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」にチェックを付けます。

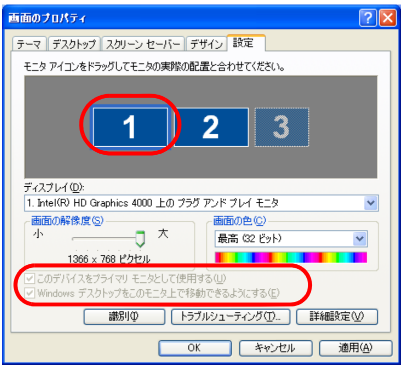


■ 複製

1. 「ディスプレイ」の「2」を選び、「Windows デスククトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のチェックを外します。

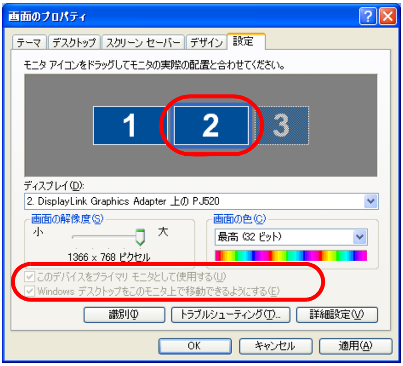


2. 「ディスプレイ」の「1」を選び、「このデバイスをプライマリモニタとして使用する」と「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」にチェックを付けます。

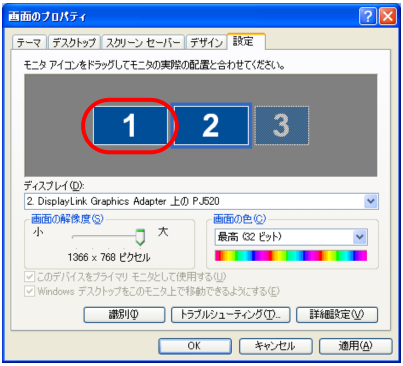


■ セカンドスクリーンのみ（プロジェクターのみ）表示

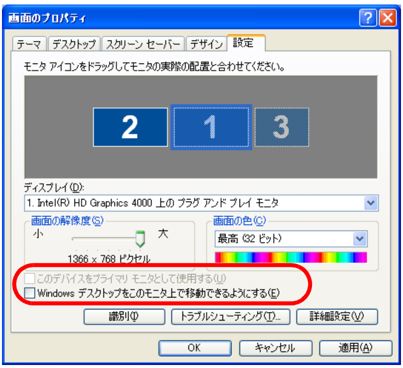
1. 「ディスプレイ」の「2」を選び、「このデバイスをプライマリモニタとして使用する」と「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」にチェックを付けます。



2. 「ディスプレイ」の「1」を選びます。



3. 「このデバイスをプライマリモニタとして使用する」と「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のチェックを外します。



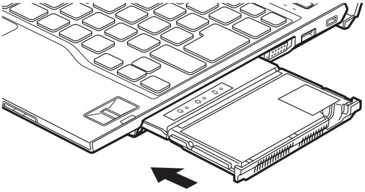
4 **「適用」をクリックします。**

プロジェクターの電源を切る

1 **⏻ LED 点灯ボタン（→ P.4）を押して、LED を消灯します。**

LED 点灯ランプがオレンジ色に変わります。

2 **照射部を水平に戻し、パソコン本体に格納します。**



（イラストは機種や状況により異なります）

プロジェクターの電源が切れます。

重要

- カチッと音がするまでパソコン本体に確実に押し込んでください。
- 照射部の引き出しおよび収納は、パソコンを机の上に置いた状態で行ってください。

4 お使いになるうえでの注意事項

- 著作権保護機能対応の DVD コンテンツなどは表示することができません。
- Windows XP では、DirectX はサポートしていません。3D を使用したコンテンツ、DirectX 対応のゲームは表示されません。
- Windows XP では、ハードウェアアクセラレーションを使用した動画再生画面は表示されません。
- 再起動、休止状態、およびスリープ（Windows XP の場合はスタンバイ）からの復帰（レジューム）時に、画面に次のような現象が発生することがあります。動作には問題ありませんので、そのままお使いください。
  - 一瞬暗くなる
  - 白くなる
  - ノイズが表示される
  - 表示が乱れる
  - 一瞬点滅表示する
- 次の場合、プロジェクターの画面を再度表示するには、LED 点灯ボタンを押して LED 点灯ボタンの色を緑色にしてください。
  - パソコン本体が再起動、およびスリープ（Windows XP ではスタンバイ）や休止状態から復帰（レジューム）したとき
  - コントロールパネルの「電源オプション」で設定した「ディスプレイの電源を切る」または「モニタの電源を切る」が実行され、復帰したとき
  - 画面の表示方法を「プロジェクターの切断」にした後、再度表示方法を切り替えたとき
- 本製品は非常に精度の高い技術で作られておりますが、映像の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色ムラが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらくたつと消えます。この現象を防ぐためには、本製品の電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少なはん点が目立つことがありますが故障ではありません。
- 照射部を引き出した状態で持ち運ばないでください。振動や衝撃で本製品が故障する可能性があります。
- 本製品の前面や底面にある通気孔をふさがないでください。
- 照射部を引き出した状態で上から押さえないでください。照射部の下に机などがない状態で使用するときは、特にご注意ください。本製品が故障する可能性があります。
- 照射部の引き出しおよび収納は、パソコンを机の上に置いた状態で行ってください。
- LED 照射口はガラスを使用しているため、取り扱いにご注意ください。衝撃を加えるとガラスが割れるおそれがあります。
- LED 照射口のレンズを直接覗き込まないでください。

・モバイルプロジェクターの電源が入った状態で、液晶ディスプレイを閉じ、次に開いた場合に、画面の表示が切り替わっていることがあります。その場合は、画面の表示方法を切り替えて（→ P.9）ご使用ください。

5 困ったときには

正常に動作しない場合は、「トラブルシューティング」をご覧になり確認してください。また、パソコン本体や、接続されている他の機器もあわせてお調べください。問題が解決できない場合は、お問い合わせ先（→ P.18）またはご購入元に連絡してください。

トラブルシューティング

■電源が入らない

本製品がモバイル・マルチベイに正しく取り付けられているか確認してください。取り付け方法については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

■画面に何も映らない

- 調整ランプが点滅していませんか
  調整ランプが点滅している（→ P.17）をご覧ください。
- LED 点灯ランプがオレンジ色になっていませんか
  スリープ（Windows XP ではスタンバイ）、休止状態から復帰したときや照射部を引き出した直後など、LED 点灯ランプがオレンジ色になっているときはプロジェクターの画面は表示されません。LED 点灯ボタンを押して緑色にしてください。
- 画面表示が「プロジェクターの切断」になっていませんか
  画面の表示方法を切り替える（→ P.9）をご覧になり、画面表示を確認してください。

■調整ランプが点滅している

- （輝度切り替えランプ）と（映像回転ランプ）が点滅している
  - （LED 点灯ランプ）が緑色に点灯している場合
    周囲の温度が高いです。ご注意ください。
  - （LED 点灯ランプ）がオレンジ色に点灯している場合
    LED 点灯ランプが緑色に点灯している場合からさらに温度が上がった状態です。LED は消灯します。
    照射部を一度格納し、しばらくたってから再度引き出してください。
- 調整ランプがすべて点滅している
  エラーが発生しました。照射部を一度格納し、再度引き出してください。それでも点滅が続く場合は、お問い合わせ先（→ P.18）までご連絡ください。

■画面が青い

周囲の温度が低い場合は青い画面が表示されます。適正温度になるまでしばらくお待ちください。

■画面のピントが合わない

フォーカススライドスイッチ（→ P.4）でピントを調整してください。

■小さな文字が見づらい

解像度を 854 × 480 ドットに変更すると正常に表示されます。
複製表示している場合は、「プロジェクターのみ」または「拡張表示」に変更すると、解像度の指定ができるようになります。

■ドライバーをインストールするときに、競合ドライバーの警告のメッセージが表示される

USB で接続するディスプレイやプロジェクターなどのドライバーが共存するとパソコンが正常に起動されません。警告のメッセージに従い、デバイスドライバーをアンインストールした後で、プロジェクタードライバーをインストールしてください。

お問い合わせ先

こんなときには	こちらへ
故障かなと思われたとき	**＜法人のお客様＞** **富士通ハードウェア修理相談センター** 通話料無料　0120-422-297 受付時間　9：00 ～ 17：00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）
	＜個人のお客様＞ **故障や修理に関する受付窓口** 通話料無料　0120-926-220 受付時間　9：00 ～ 21：00（システムメンテナンス日を除く）
技術的なご質問、ご相談	**富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口** 通話料無料　0120-950-222 受付時間　9：00 ～ 17：00 （土曜、日曜、祝日およびシステムメンテナンス日を除く） 受け付け後に専門技術員からのコールバックとなります。

・おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
・各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
　お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
・システムメンテナンスのため、受付時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

6 リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

□ 法人・企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

□ 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

7 仕様

本製品の仕様

型名	FMVNPJ4	FMVNPJ5	FMVNPJ6
解像度	854 × 480 ドット		
画面サイズ （投影距離）	15 ～ 75 インチ（0.5 ～ 2.5m）		
輝度	40lm/30lm（AC アダプタ接続時） 30lm/20lm（バッテリ運用時）		
温湿度条件	温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時） 温度－ 10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）		
外形寸法 （突起部含む）	W132.0 × D137.8 × H13.2mm	W132.4 × D139.7 × H21.5mm	W130.1 × D135.3 × H15.9mm
重量	約 170 g		

調整ランプの表示仕様

	オフ時	待機時	照射時 （常温）	照射時 （高温）	高温停止時	エラー時
LED	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯
LED 点灯 ランプ	消灯	オレンジ 点灯	緑点灯	緑点灯	オレンジ 点灯	オレンジ 点滅
輝度切り替え ランプ	白点灯	白点灯	白点灯	白点滅	白点滅	白点滅
映像回転 ランプ	白点灯	白点灯	白点灯	白点滅	白点滅	白点滅

調整ボタンの操作仕様

		ボタンの操作	
		初期状態	押す[注]
LED 点灯ボタン	ランプの色	オレンジ	緑
	LED の状態	消灯	点灯
輝度切り替えボタン	LED 輝度(AC アダプ接続時)	40lm	30lm
	LED 輝度（バッテリ運用時）	30lm	20lm
映像回転ボタン	−	画像回転（0°）	画像回転（180°）

注 ：押すごとに初期状態と切り替わります。

■照射について

白い壁などに映していただくと、映像がより鮮明になります。
壁など映像を映すものがお近くにない場合は、市販されているスクリーンをお使いいただくことで、パソコンの画像を映出しご覧いただくことができます。

LIFEBOOK
モバイルプロジェクターユニット
（FMVNPJ4/FMVNPJ5/FMVNPJ6）取扱説明書

B6FY-1471-01-00

発 行 日　2012 年 10 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123　東京都港区東新橋 1-5-2　汐留シティセンター

㋐ 1209-1

B6FY-1471-01